

南小の校章は「さくら」

新しい年度が始まりました。暖かい日が続いたせいでしょうか、学校の記念園の桜も葉桜になってきました。でも、昨年度同様、美しい花を咲かせてくれました。桜はしなやかさと優しさだけでなく、凜とした佇まいも感じさせてくれます。

さて、本校のこのソメイヨシノという桜は、時期になると一つまた一つと咲いていきます。気が付くと一斉に満開になる桜です。先に咲いた花は、まだ咲いていないつぼみを残して先に散ってしまうのかと思いがちですが、実はそうではないそうです。先に咲いた花は最後の花が咲くまでじっと待って満開の時を迎えるのだそうです。咲く早さは違っていても、全部の花が咲くまで待って、みんなで満開の時を迎える。そのことを知ってから、私は今まで以上に桜が大好きになりました。

本校の校章は「さくら」。なぜ「さくら」なのか、人に尋ねたり、調べてみたりしましたが分かりませんでした。でも、「咲く早さは違っていても、全部の花が咲くまで待って、みんなで満開の時を迎える」という言葉を借りれば、きっとこの桜のように、「一人ひとりの子ども達の成長の早さは違っていても、全ての子ども達がその子らしく成長を遂げるまで、温かく見守り、六カ年の課程を経て全員そろって笑顔で卒業できる日を迎えてほしい」という願いがあったのかなと思いました。

一人ひとりには個性があり、成長の早さも時期も異なります。人は弱いからつい人と比べたり、焦ったり、立ち止まってしまったりしがちです。でも少し先に待ってくれている仲間がいたり、一緒に歩んでくれる仲間がいたりすると、もう少しがんばってみようかなと元気がわいてきます。

南小の校章は「さくら」。この桜のように、互いを尊重し合い、思いやりの心をもった子ども達に育てていきたいと思います。今年度は創立50周年記念事業も計画しています。心に残る素晴らしい一年となるよう全教職員で力を合わせ頑張って参ります。どうぞ今年度もよろしく願いいたします。



教職員の紹介

校長	竹内悦子
教頭	信江啓子
教務	岡本善憲
あすなろ	佐藤真美
たんぽぽ	岡崎舞
ひまわり	近藤明日
1年	井口真由香
2年	熊澤精二
3年	内田ひなの
4年	日原廣大
5年	福本直隆
6年	河合優里
養護	岡本敦子
事務	藤枝紗永子
司書	岡真智子
校務	塩見誠

習熟度別サポーター	角南桂子
特別支援教育支援員	瀬島里華
特別支援教育支援員	楠戸満代
不登校児童生徒支援員	小松佐起子
学校業務アシスト	//
不登校児童生徒支援員	平靖幸
拠点校指導員	矢延文夫

転任・退任の先生方、お世話になりました

沼本 恵先生	(ご退職)
岡山 美咲先生	(操南小学校へ)
小山 直己先生	(西大寺南小学校へ)
信江 美季先生	(津島小学校へ)
藤原 武夫先生	(建部小学校へ)

新しい教職員の紹介、よろしくお願いします！

井口 真由香先生	(陵南小学校より)
藤枝 紗永子先生	(電操中学校より)
内田 ひなの先生	(新採用)
日原 廣大先生	(新採用)
塩見 誠先生	(新規採用)
矢延 文夫先生	(桃丘小学校より)

4月の行事予定

日	曜	行 事
1	木	学年始休業日
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	新任式・始業式 一斉下校11:30
8	木	一斉下校11:55 身体測定①
9	金	給食開始 聴力検査① 入学式準備(6年) 身体測定② 2年～5年生一斉下校14:10 6年生下校15:40
10	土	
11	日	
12	月	入学式(1・6年) 2～5年生は家庭学習 6年下校11:10
13	火	身体測定 地区別児童会 交通教室(登校班・バス) 視力検査① 1年生給食開始
14	水	身体測定③ 安全点検
15	木	視力検査②
16	金	尿検査一次 視力検査③
17	土	
18	日	
19	月	交通安全教室AM 委員会 尿検査一次 聴力検査①
20	火	学力アセス(4・5年生) 家庭訪問 一斉下校14:00
21	水	家庭訪問 学力アセス(4・5年生) 一斉下校14:00
22	木	家庭訪問 避難訓練 聴力検査② 一斉下校14:00
23	金	家庭訪問 一斉下校14:00 聴力検査③
24	土	
25	日	
26	月	内科検診①
27	火	内科検診② 代表委員会
28	水	眼科検診
29	木	昭和の日
30	金	1年生を迎える会 全校遠足(弁当)

地域の皆さん、いつも登下校の見守りをしてくださってありがとうございます。



裏面あり

一人ひとりを大切にしよう

「たんぽぽ」 川崎 洋

たんぽぽが
たくさんとんでいく
ひとつひとつ
みんな があるんだ
おーい たぽんぽ
おーい ぽんたぽ
おーい ぽんたぽ
おーい ぽんたぽ
川におちるな



始業式で、川崎 洋さんの「たんぽぽ」の詩を紹介しました。一か所 で言葉を隠していました。みんなだったら、この の中にどんな言葉が入ると思う？と尋ねました。すると、子どもたちの中から手が挙がり、「思い」「いのち」「こころ」といった言葉を考えてくれました。どの言葉も素敵です！どれも大切にしてほしい言葉です。

川崎洋さんの詩では、 の中は「名前」と書いています。小さな「たんぽぽ」の小さな「わたげ」にも、「たぽんぽ」「ぽんた」「ぽんたぽ」「ぽんたぽん」って名前をつけてもらっています。ちゃんと名前を呼んでもらって、うれしいですね。「川におちるな」と優しく声をかけてもらってうれしいですね。誰が声をかけてくれたのでしょうか。お日様でしょうか。風さんでしょうか。雲さんでしょうか。それとも、同じ仲間のわたげさんでしょうか。こんなふうに声をかけてもらえると、「大事にされている」って思えます。この詩のように、一人ひとりを大事にして、困った時に優しく声をかけ合える、そんなクラス、学校をつくらっていきたいと思っています。

